



## 2. 置き家具としての対応とA製作方法とB作業手順

### 1) キッチン

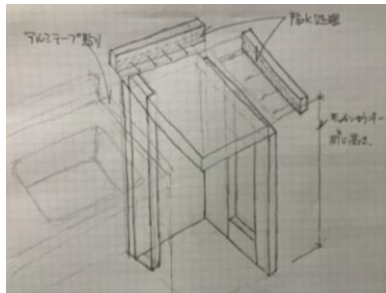
#### ① 調理スペースの棚板

- (1) 現場を採寸する。キッチンカウンターの高さ・奥行を図る。
- (2) カウンター右端部から冷蔵庫までの距離を測る。
- (3) カウンター材を選ぶ。
- (4) カウンターの収まりを防水・水返しの点から検討する。  
奥・右側面に10mmの立ち上がりを設けてジョイント部は木工ボンドで接着しビス締め固定とする。  
カウンターとの取り合いのラインをアルミテープ貼りし防水とする。
- (5) カウンター下部をゴミ置き場として使いやすいように左側は脚を設けない形とする。
- (6) 部材の緊結は細ビスの適切な長さのものを使用する。

#### ② 冷蔵庫右横の棚板収納

- (1) 現場を採寸する。冷蔵庫右壁で済みから幅380mm窓内側収納手前20mmまで
- (2) 有効幅寸法を確定し、高さを1730mmと決めて、下部をフリースペースとし上部に棚板を設置する。奥行は有効寸法の確保を優先して150mmとする。

上部棚板は2段で固定棚とする。



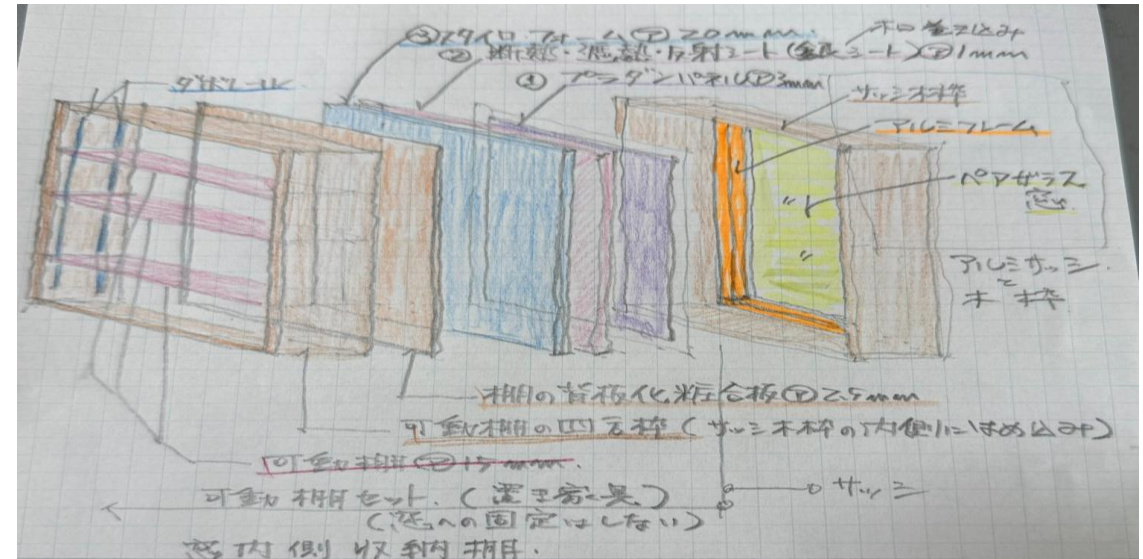
下段サッシにはめ込み

#### ③ 幅380mmの窓内側収納

- (1) 現場を採寸する。サッシ枠の内法寸法・高さ・幅を測る。
- (2) 右の幅800mmの窓内側収納の設置後に製作とし、取り合い部の収まりから奥行寸法を決める。90mmとした。

#### ④ 幅800mmの窓内側収納2か所

- (1) 現場を採寸する。窓側から
    - ① プラダン
    - ② セリア断熱シート厚さ1mm
    - ③ スタイロフォーム厚さ20mm
    - ④ 棚の背板化粧合板厚さ2.5mm を断滅と地振じ振動に対する窓ガラス保護剤として設置する。
    - ⑤ サッシ内側四方枠厚さ15mm高さ80cm幅80cm内側にダボレールを設置
    - ⑥ 棚板3枚厚さ15mmをダボレール内法寸法マイナス5mmにて作成
- ポイント・工夫：窓ガラス保護（地震時の食器衝突対策）のため、4層構造にてガラス手前のアルミ枠に3層の断熱保護剤を面で荷重を受けさせる構造とした。ガラス面が南向きにて夏の日射をさえぎるためアルミシートで熱を外部に反射し、ガラス・空気層・プラダン・空気層・断熱シート・アルミシート・スタイロホーム・収納背板化粧板の順で設置する。





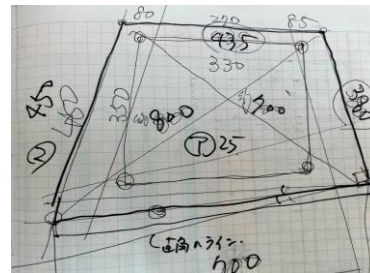
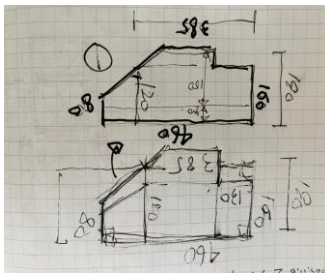
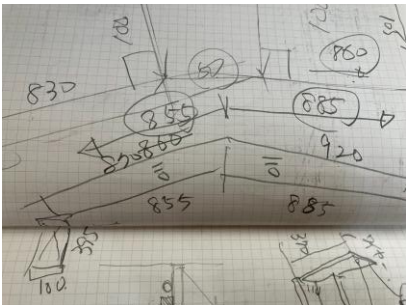
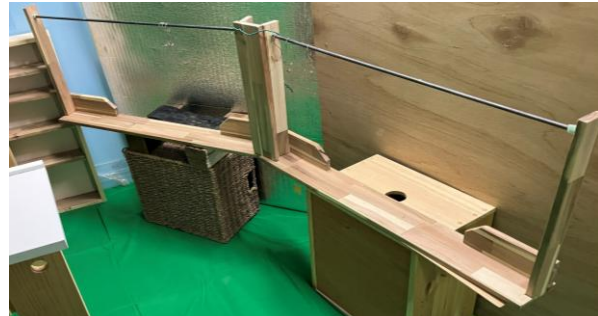
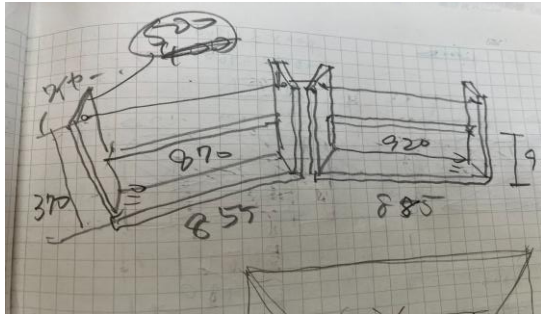
- ⑤ 幅800mm窓内側収納上部の鉄筋ハンガー2か所  
 (1) 耐震のための外れ止めとして左右の収納の上部

- ① 下枠左右が繋がるサイズ
- ② 両端部に高さ430mmの柱板材とその直交にて筋交い補強材を設置
- ③ 高さ370mmにて9mm丸鋼（鉄筋長さ90cm）を柱板に穴を開けて差し込み  
柱板の外側に鉄鋼きりにて下穴2mmを開け、20mmビスにて外れ止めとする
- ④ 丸鋼に鉄鋼ドリルで下穴を開ける
- ⑤ 丸鋼下穴に外れ止めようのビス（長さ15mm）を打ち込む
- ⑥ 鉄筋丸鋼をステンステープで覆いさび止めとする
- ⑦ 丸鋼にステンレスS管をペンチで輪をつぼめて3個ずつ設置する

- ⑥ オープン専用棚の設置

キッチン奥の棚板に挟まれた空間に台形状の甲板厚さ25mmのサイズを現場採寸する。

両サイドの棚板にビス止めすることで、地震時の棚板の転倒防止とする



オープン専用棚と下地収納連結板

## 2) ダイニングコーナー

- ① キッチンコーナーからの動線上の奥行変異食器棚

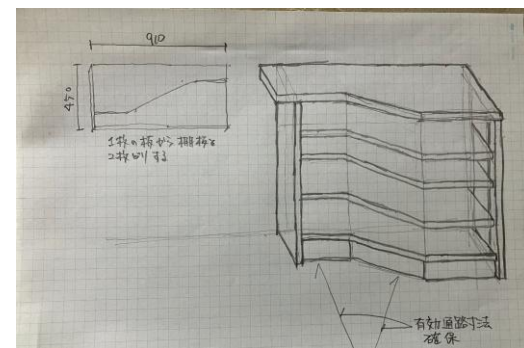
- (1) ダイニングからキッチンへの動線上の有効通路寸法を現場採寸する
- (2) 通路幅として60cmを確保するようにして段ボールで型板を作る
- (3) 型板にお皿の丸印と記入して有効寸法と食器並べたサイズとで調整を
- (4) 現地で型板を当てて食器棚の奥行寸法を決定する。
- (5) タモ甲板厚さ25mmにて450×910mmから上下棚材を二枚取りにて墨をうつ
- (6) 可動棚板は厚さ15mmのアカシア修正無垢材にて板を加工する
- (7) 右建枠は奥行250mmとし。左建枠は奥行150mmとする
- (8) 台輪高さを90mmとして加工し下部棚板と緊結する
- (9) 四方枠をビス止めにて組み立てする
- (10) 建枠にダボレールを設置し、鉤かけやすりがけにて棚板の正面の面を程よく整える

- (11) アカシア棚板の幅を合わせてカットし設置、正面を整える
- (12) 右側設置の本棚とビスで連結する

- ② トール本棚

トール本棚は名古屋時代に作成の棚を使用する。  
耐震転倒防止加工を右上にて行う

- ③ ダイニングコーナー根のベッドコーナーからのコンセント追加  
仮説コンセントを使用してコンセントを延長増設し棚上部にビス固定する



有効通路幅の確保がポイント



### 3) リビング・ワークコーナー

- ①鉄筋柱のコの字型腰壁パネル (H=1600mm) 造作置き家具
  - (1) 杉カフェ材を左3枚右3枚中5枚にカット割付する
  - (2) 下地合板と杉カフェ材をビスで固定する
  - (3) 下地合板に壁クロス取り合いの養生材を貼り付けする
  - (4) 下部巾木上に電気配線カバーを下地合板下の杉カフェ材に固定する
  - (5) 壁パネル材の下場にフローリング養生のフェルトを貼り付けする
- ②柱正面のテレビ台付折りたたみテーブル・机
- ③テレビ台下部3方向の可動棚3か所



### 4) ピクチャーウインドウのカフェコーナー

- ①跳ね上げ式カウンター
- ②跳ね上げ式カウンター設置用小物
- ③跳ね上げ式カウンター下部カフェ杉棚板

